



15歳から18歳へ：自分らしい「高校生活」と「未来」の描き方



15歳のいま、広がる選択肢

① 高等学校(全日制・定時制・フレックス)



② 通信制高校



③ 高等専修学校



④ 特別支援学校高等部



※ このほか、⑤ 福祉的就労(障害福祉サービスの利用) ⑥ 就職 という選択肢もあります。

「どこに行けるか」より「何をしたいか」

高校生として何を学び、どんな3年間を過ごしたいのかを考えることが、自分に合った進路選択の第一歩になります。

学び方のスタイルを知る

【特別支援学校の進路支援情報】
協和特別支援学校のホームページの他、進路支援部の「note」でも発信しています。



普通科・専門学科
(高校・専修学校など)

学習の中心は教科。卒業後は、大学や専門学校への進学、または一般企業への就職を目指す道が一般的です。

特別支援学校
高等部



教科の学習に加えて、作業学習や職業教育、自立活動などを通じて、「社会に出る力」「働き続ける力」を育てます。自分の得意・不得意を知り、就労や社会参加へつなげます。

18歳の自分をイメージする

3年後の姿から「逆算」して考える

大学進学なら高校や通信制、障害者雇用での就職や障害福祉サービスの利用であれば、現場実習が充実した特別支援学校...と、18歳時点での希望の進路に合わせて進路先を選択しましょう。

メリット・デメリットだけで決めない

「どちらが得か」ではなく、ぼんやりとでもいいので将来の姿を思い描く(学ぶか?働くか?)ことで、今の進路は見えやすくなります。

特別支援学校 高等部へのステップ

☑ 入学に向けた必須条件

「療育手帳」の所持が前提となり、入学選考の前には「教育相談」を受けることが必須です。これはお互いのニーズを理解するための大切な場です。



☑ 現場実習でミスマッチを防ぐ

在学中から実際の職場に行く「現場実習」を実施することで、本人と仕事との相性を確かめながら、納得感のある進路選択を進めます。



☑ 地域で選べる3つの選択肢

筑西市や桜川市からは、協和特別支援学校(普通科)、結城特別支援学校(ビジネスライフ科)、水戸高等特別支援学校(産業科)などの選択肢があります。

